

日記『秋田のかりね』

真澄三十歳の時、天明四（1784）年、九月十日から十二月三十日までの日記。

越後路から出羽国庄内に入り、さらに北上して秋田県湯沢市柳田の草薙家に滞在して冬ごもりするまでの日記。

経路…ねずが関（越後、庄内の境）↓ 温海 ↓ 鶴岡 ↓ 羽黒山参詣 ↓ 酒田
↓ 象潟見物 ↓ 本荘 ↓ 矢島 ↓ 西馬音内 ↓ 柳田（逗留）

（文献）

原典…菅江真澄『秋田のかりね』（大館市立栗盛記念図書館所蔵）

翻刻本…内田武志・宮本常一編集『菅江真澄全集』第一卷（未来社）

現代訳…内田武志・宮本常一編集『菅江真澄遊覧記』第一卷（東洋文庫）